

- Top
- iDempiere/JPIere入門
- いつでもどこでもオンラインセミナー
- ERPとは
- Compiere Distribution とは
- Compiere Distribution Labs
- iDempiere Lab
- JPIere Lab
  - About JPIere
  - はじめようJPIere
    - 共通基本操作
    - 販売管理
    - |--受注管理
    - |--出荷納品管理
    - |--売上請求管理
    - |--見積管理
    - 債権管理
    - 購買管理
    - 債務管理
    - 在庫管理
    - 会計管理
    - 生産管理
    - 顧客管理
    - マスタ
    - 開始準備
    - データ移行
  - |--MS-100:企業モデリング
  - |--MS-200:権限設定
  - |--MS-300:会計初期設定
  - |--MS-400:取引先マスタ関連
  - |--MS-500:品目マスタ関連
  - |--MS-600:その他のマスタ
  - |--MS-700:仕訳データ
  - |--MS-800:伝票
- Install
- カスタマイズ
- リリースノート
- 開発環境構築
- JPIereバージョンアップ指針
- JPIereの活用法(SIerの皆様へ)
- JPIereカスタマイズ規約
- JPIereサポーター特典
- JPIere & iDempiere デモサイト

## ■ JPIere/iDempiereからのデータ移行(企業モデリング)

▶ [オープンソース ERP](#) ▶ [JPIere Lab](#) ▶ [はじめようJPIere](#) ▶ [データ移行](#) ▶ [iDempiereからのデータ移行\(マスタ編\)](#)

このコンテンツでは、JPIere/iDempiereからJPIere/iDempiereへ企業モデリングに関するマスタデータを移行する方法について調査及び研究し、その成果をまとめています。

### 目次

- [組織タイプ](#)
- [組織マスタ](#)
- [勘定科目](#)
- [組織倉庫](#)
- [保管場所](#)
- [事業領域](#)
- [事業部](#)

## MS-101:組織タイプ

組織マスタのデータ移行に先立ち、組織タイプをデータ移行します。

組織タイプは、[インポートファイルローダー](#)でアップロードできるように設定してあります(インポートテンプレートの"**MS-101:Import Org Type**"). 移行元のJPIere/iDempiereから下記のSQLでデータをダウンロードし、インポートファイルローダーでインポートすることができます。



### 組織タイプのダウンロード用SQL

組織タイプのダウンロード用SQL

MS-101\_組織タイプ-AD\_OrgType.txt

テキスト文書 333 Bytes

[ダウンロード](#)

## MS-110:組織マスタ（インポート1回目）

組織タイプをインポートした後で、組織マスタをインポートします。移行元のJPIere/iDempiereからSQLでデータをダウンロードし、[【JPIERE-0053】組織マスタインポート上](#)を使用してインポートします。インポートフォーマットの"**MS-110:JPIere Org Import**"を使用するとダウンロードしたデータをそのままインポートすることができます。

インポートした後で、組織マスタのツリーは手でメンテナンスして下さい。



### 【補足説明】

インポートするマスタの順番的に、組織マスタは1回では組織情報タブのすべての情報をインポートすることができません。そこで、一通りマスタ類がインポートされたあとで、もういちど組織マスタをインポートしていきます。



### 組織マスタのダウンロード用SQL

組織マスタのダウンロード用SQL

MS-110\_組織マスタ-AD\_Org.txt

テキスト文書 956 Bytes

iDempiereとJPiereのTips
OSS-ERPと他のアプリとの連携調査
OSS-ERPに関連する技術調査
Compiere Distribution 導入事例
お知らせ
なんでも研究日誌
サイト運営者
問い合わせ
メールマガジン



## ダウンロード

### MS-120:勘定科目(インポート1回目)

組織倉庫のデータ移行をする際に、自動仕訳の設定も一緒にインポートする都合上、ここで勘定科目を先にインポートしておきます。勘定科目のインポートはiDempiere標準の勘定科目インポートを使用します。移行元のJPiere/iDempiereから下記のSQLでデータをダウンロードし、インポートフォーマットの"**Accounting - Accounts**"を使用して、勘定科目をインポートする事ができます。



#### 勘定科目のダウンロード用SQL

勘定科目のダウンロード用SQL

MS-120\_勘定科目-C\_ElementValue.txt

テキスト文書 600 Bytes

[ダウンロード](#)

### MS-131:組織倉庫

組織倉庫のデータ移行をします。組織倉庫は、[【JPiere-0393】組織倉庫インポート](#)を使用してインポートします。移行元のJPiere/iDempiereから下記のSQLでデータをダウンロードして、インポートフォーマットの"**MS-131:JPiere Org Warehouse Import**"を使用して、組織倉庫をインポートする事ができます。



#### 組織倉庫のダウンロード用SQL

組織倉庫のダウンロード用SQL

MS-131\_組織倉庫-W\_Warehouse.txt

テキスト文書 1.5 KB

[ダウンロード](#)

### MS-135:物理倉庫

未作成。

### MS-141:保管場所区分

未作成。

### MS-145:保管場所

保管場所は、[インポートファイルローダー](#)でアップロードできるように設定してあります(インポートテンプレートの"**MS-145:Import Locator at Org Warehouse**"). 移行元のJPiere/iDempiereから下記のSQLでデータをダウンロードし、ヘッダーを修正すればインポートファイルローダーでインポートする事ができます。



#### 保管場所のダウンロード用SQL

保管場所のダウンロード用SQL

MS-145\_保管場所-M\_Locator.txt

テキスト文書 773 Bytes

[ダウンロード](#)

## スポンサー広告

オープンソース ERPの専門企業  
[株式会社OSS ERP Solutions](#)



**OSS ERP Solutions**  
オープンソース・イーアルピー・ソリューションズ

ERPと会計を学ぶ  
**ERP Accounting Academy**  
ERP アカウンティング アカデミー

## コンテンツの公開区分

### 公開コンテンツ

だれでも自由に閲覧できるコンテンツです。コンテンツの公開区分が指定されていない場合は、すべて公開コンテンツです。

### サポーターズコンテンツ

JPiereサポーターになると閲覧できるコンテンツです。JPiereのサポーターになって、オープンソースのERPのエコシステムを支援して下さい。

### トレーニングコンテンツ

有料トレーニングで同様の内容を提供しているコンテンツです。有料トレーニングを受講する事でiDempiereを効率よく学ぶ事ができます。

### 非公開コンテンツ

公開していないコンテンツです。

## MS-181:事業領域

事業領域はインポートファイルローダーでインポートできるように設定してあります(インポートテンプレートの"**MS-181:Import Business Area**"). 移行元のJPiere/iDempiereから下記のSQLでデータをダウンロードし、ヘッダーを編集すればインポートファイルローダーでインポートする事ができます。



### 事業領域のダウンロード用SQL

事業領域のダウンロード用SQL

MS-181\_事業領域-JP\_BusinessArea.txt

テキスト文書 278 Bytes

[ダウンロード](#)

## MS-182:事業領域の翻訳データ

事業領域は翻訳データが登録する事ができます。事業領域の翻訳データはインポートファイルローダーでインポートできるように設定してあります(インポートテンプレートの"**MS-182:Import Business Area Trl**"). 事業領域をインポートした後に、翻訳データをインポートする事ができます。



### 事業領域の翻訳データのダウンロード用SQL

事業領域の翻訳データのダウンロード用SQL

MS-182\_事業領域-JP\_BusinessArea\_Trl.txt

テキスト文書 403 Bytes

[ダウンロード](#)

## MS-185:事業部

事業部はインポートファイルローダーでインポートできるように設定してあります(インポートテンプレートの"**MS-185:Import Business Unit**"). 移行元のJPiere/iDempiereから下記のSQLでデータをダウンロードし、ヘッダーを編集すればインポートファイルローダーでインポートする事ができます。



### 事業部のダウンロード用SQL

事業部のダウンロード用SQL

MS-185\_事業部-JP\_BusinessUnit.txt

テキスト文書 529 Bytes

[ダウンロード](#)

## MS-186:事業部の翻訳データ

事業部は翻訳データを登録する事ができます。事業部の翻訳データはインポートファイルローダーでインポートできるように設定してあります(インポートテンプレートの"**MS-186:Import Business Unit Trl**"). 事業部をインポートした後に、翻訳データをインポートする事ができます。



### 事業部の翻訳データのダウンロード用SQL

事業部の翻訳データのダウンロード用SQL

MS-186\_事業部-JP\_BusinessUnit\_Trl.txt

テキスト文書 403 Bytes

[ダウンロード](#)



[プライバシーポリシー](#) | [サイトマップ](#)

© [Hideaki Hagiwara](#) since 2012

※このサイトは、iDempiereを中心としたOSSのERPに関する調査及び研究の成果を記録しておく事を目的とした個人のサイトです。